

**平成 30 年度対クック諸島草の根・人間の安全保障無償資金協力
持続可能なタロ・プランテーション灌漑用水システム整備計画の署名式典**

2019 年 2 月 25 日、平成 30 年度対クック諸島草の根・人間の安全保障無償資金協力「持続可能なタロ・プランテーション灌漑用水システム整備計画」の署名式がラロトンガ島で行われ、当館の有吉勝秀公使及びアタリキ・マンガイア島地方政府市長が贈与契約書に署名を行いました。

本計画によって、日本は、同地方政府への約 10.3 万 NZ ドルの支援を通じて、屋根付取水・導水施設を建設し、雨水貯水タンクを 6 基設置するとともに、取水・導水施設からタロ栽培地まで安定した給水ができるように灌漑システムを整備します。本計画の目的は、乾季においても給水を可能にし、タロなどの持続可能な生産量を増加させて、プナ・タヴァエンガ村の食糧自給率を改善することです。アタリキ市長からは、日本政府及び国民に深く感謝する旨の言葉がありました。



アタリキ市長（左）

有吉公使（右）



贈与契約署名の様子



有吉公使のスピーチ